

演習使用備品一覧表

演習実施に必要な備品等の基準	事業者における備品確保状況
<p>①ベット *概ね受講生5～6名に1台準備することが望ましいが、最大8名に1台の割合で準備すること。</p>	<p>ベット 【3台】 <input type="checkbox"/>購入・レンタル・その他（ ）</p>
<p>②車椅子 *概ね受講生5～6名に1台準備することが望ましいが、最大8名に1台の割合で準備すること。</p>	<p>車椅子 【3台】 <input type="checkbox"/>購入・レンタル・その他（ ）</p>
<p>③ポータブルトイレ *概ね受講生5～6名に1台準備することが望ましいが、最大8名に1台の割合で準備すること。</p>	<p>ポータブルトイレ 【3台】 <input type="checkbox"/>購入・レンタル・その他（ ）</p>
<p>④簡易浴槽 *概ね受講生5～6名に1台準備することが望ましいが、最大8名に1台の割合で準備すること。</p>	<p>簡易浴槽 【3台】 <input type="checkbox"/>購入・レンタル・その他（ ）</p>
<p>⑤その他各教科書にて使用する備品 *別表1 参照</p>	<p>備品の準備状況 <input type="checkbox"/>済 ・ 未</p>

*購入に□を記載しているが、全て既存施設より一時的に使用させてもらうものである。

別表1

演習教科	準備するもの
(4) 生活と家事	いろいろな種類の衣類
(5) 快適な居住環境整備と介護	介護用ベット、枕、かけ布団、マット、敷パット、フラットシーツ、防水シーツ、包布
(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<p><衣類着脱の介護> 前開きボタンパジャマ、寝巻き（ゆかた式）、着脱が容易にできる衣類、ベッド、車椅子、テーブル、いす、バスタオル、タオル 等</p> <p><身体の清潔> ゴム手袋、足浴用バケツ、湯せん用ピッチャー、タオル、ビニールシート、つめ切り、着替え 等</p> <p><床ずれ（褥そう）への対応> エアマット、ビーズクッション、ナーセントパット等、バスタオル、紙おむつ 等</p>
(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<p><いす・車椅子等への移乗、移動の介護> 車椅子、ベッド、布団、便座（トイレ）、ポータブルトイレ、介助バー、手すり、ターンテーブル 等</p> <p><肢体不自由者・視覚障害者の歩行等の介護> 手すり、滑り止めマット、歩行器、手押し車、つえ、いす、白杖、ピックアップウォーカー、ティルト車いす 等</p>
(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<p><食事の介護> 車椅子、テーブル、足台、防水布、エプロン、自助具、いす（背もたれや肘あてのあるもの）、食器（食べやすく工夫されたもの）、タオル、ストロー、スプーン、はし、吸い飲み、ストローマグマグ 等</p> <p><口腔の衛生> 歯ブラシ、コップ、マウススポンジ、タオル、吸い飲み、ガーグルベース、綿棒、ゴム手袋 等</p>
(9) 入浴、生活保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	一般浴槽、シャワーチェアー、手すり、洗面器、バスボード、浴槽台、滑り止めマット、バスタオル、タオル、綿棒、つめ切り、ドライヤー、シャンプーハット、バケツ、ターンテーブル、簡易リフト 等
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	ポータブルトイレ、取り付け式手すり、差し込み便器、尿器（男性用・女性用採尿器）、おむつ、リハビリパンツ、防水布、バスタオル、汚れたおむつを入れる容器、着脱しやすい衣類、トイレットペーパー、タオル 等
(11) 睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	ベッド、マットレス、マットレスパッド、布団、毛布、掛け布団、枕、枕カバー、シーツ、ベッドブラシ、タオルケット、洗濯かご 等

※ 赤字内容については、実習生が持参するものとする。